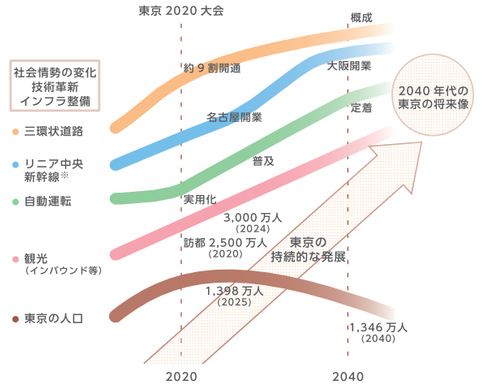
02 都市づくりのグランドデザイン

グローバル化が進展し、国際競争が激化する中、東京は、2040年代には、世界のどの都市も経験したことのない少子高齢・人口減少社会を迎え、また今後、社会経済情勢の大きな変化、幅広い分野の技術革新が見込まれます。

こうした大きな社会変化にも対応しながら、東京が持続的に発展していくため、都は平成29(2017)年9月に「都市づくりのグランドデザイン」を策定し、2040年代の目指すべき都市像とその実現のための方策を示しました。

都市づくりの目標として「活力とゆとりのある高度成熟都市」を設定しました。

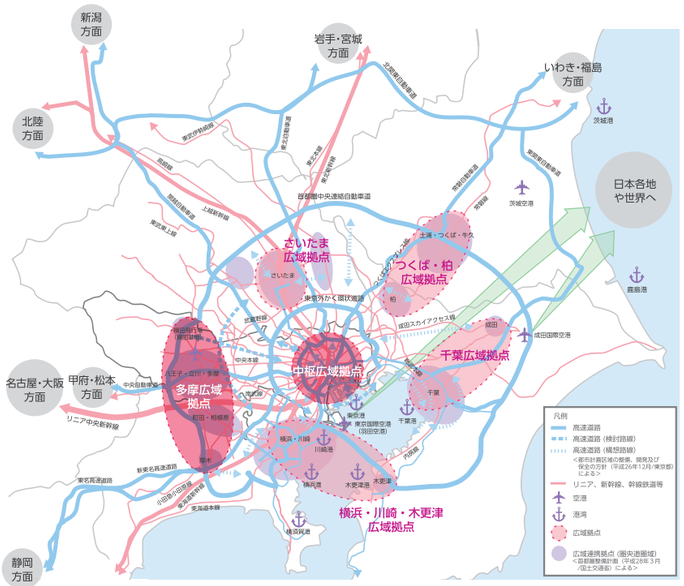
新たな価値を生み続け、世界から選択される、また誰もが活躍・挑戦でき、多様な住まい方などを選択できる都市を目指して、分野横断的にも都市づくりを戦略的に進めていくこととしています。



想定される社会の変化やインフラ整備のイメージ

三環状道路の整備や鉄道ネットワークの形成などにより、首都圏全体の交通・物流機能が大きく改善し、人やモノの流れがより円滑になっていくことも踏まえ、今後も広域的な視点を持ち、都市づくりに取り組む必要があります。

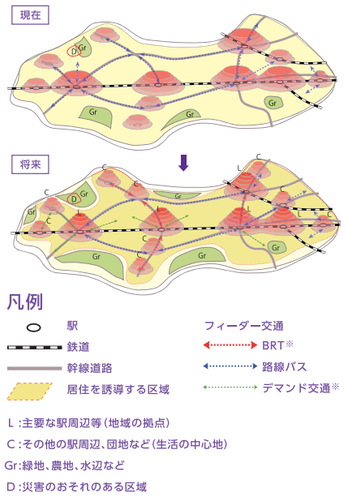
また、近年急速な進化が見られる自動運転技術等、都民生活や企業活動に影響を与える幅広い分野の技術革新も見込まれており、それらの新技術を活用し都市の効率性を向上させることも重要です。



広域的なレベルの都市構造(交通・連携・挑戦の都市構造)

世界最大の都市圏の活力を更に高めながら、多様化するライフスタイルなどに応えることができ、イノベーションの源泉となる「挑戦の場」の創出につながります。

出典:東京都都市整備局『都市づくりのグランドデザイン』



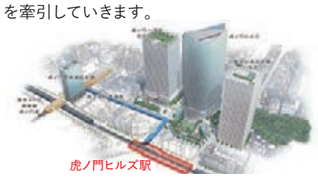
地域的なレベルの都市構造(集約型の地域構造)

主要な駅周辺や身近な中心地に生活に必要な機能の集積を推進することにより、その徒歩圏に住宅市街地を誘導し、歩いて暮らせるまちへと再構築します。駅や中心地から離れた地域には、緑豊かな良質な環境が形成されます。

出典:東京都都市整備局『都市づくりのグランドデザイン』

戦略1 持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成

複数の国際ビジネス拠点で持続的な経済成長を牽引していきます。



虎ノ門地区　出典:日比谷線虎ノ門ヒルズ駅設置に伴う土木工事パンフレット

品川駅周辺地区
提供:東日本旅客鉄道株式会社

戦略4 あらゆる人々の暮らしの場の提供

多様なライフスタイルに応じた暮らしの場を提供していきます。

多世代が交流する団地(板橋区コーシャハイム向原)　提供:社会福祉法人こうほうえん

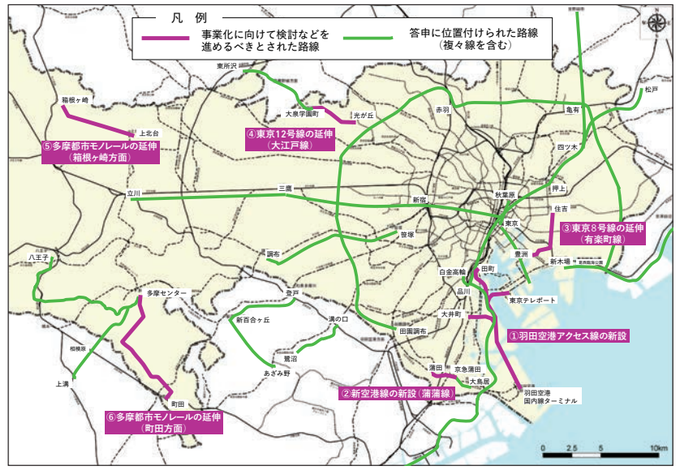
戦略5 利便性の高い生活の実現と多様なコミュニティの創出

コミュニティを生む都市の多様なスペースを創出していきます。

空き家等地域貢献活用事例「タガヤセ大蔵」
提供:一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

戦略2 人・モノ・情報の自由自在な交流を実現

様々な手段により鉄道の混雑を解消していきます。

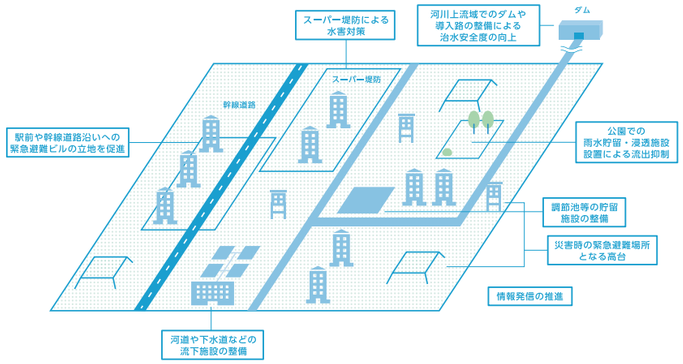


出典:国土交通省HP「交通政策審議会答申」平成28(2016)年4月

戦略3

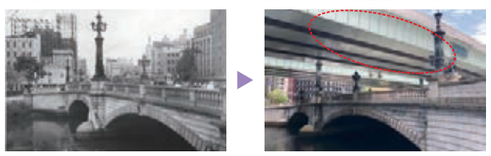
災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築

様々な被害を想定し、災害に強い都市をつくります。



戦略6 四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築

水辺を楽しむ都市空間を創出していきます(首都高速道路の地下化)。



日本橋川の上空を通過する首都高速道路
昭和31(1956)年当時(提供:中央区立京橋図書館)と現在

戦略7 芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出

都市の歴史に支えられた伝統・文化が新たな魅力を生み出します。

江戸時代の雰囲気を再現
(日本橋室町「コレド室町」)
提供:三井不動産

再建された「福徳神社」
(日本橋室町「コレド室町」)
提供:三井不動産

[さらなる挑戦:東京ベイエリアビジョン(仮称)]

◉陸海空の結節点となる東京ベイエリアのビジョンを示し、築地、晴海、有明、青海などの各エリアを有機的につなぎ、特色を生かしながら、世界でも最先端のまちづくりを進め、新たな産業や投資を呼び込んでいきます。
(2019年末作成予定)